

中津川市
博物館
だより

恵那山

2022

Vol.23, No.

3



苗木藩第11代藩主遠山友寿・第12代藩主遠山友禄の日記
(苗木遠山史料館蔵)

企画展

大名の日記展

会期：10月8日(土)～11月13日(日)

会場：苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉

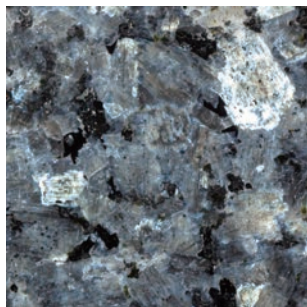
鉱物博物館

第27回企画展 まちで出会える世界の石

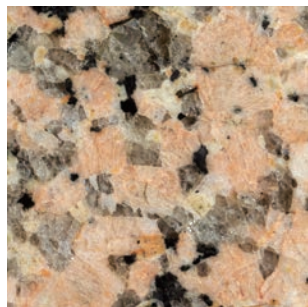
12月18日(日)まで

建物や敷石など、街なかには多くの石材が使われています。建築石材やモニュメントとして使用されている世界各地の石を展示し、身近な場所での使用例とともに紹介します。

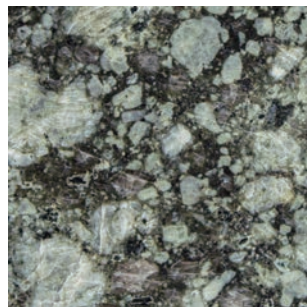
- 会 期／7月23日(土)～12月18日(日)
- 会 場／鉱物博物館 企画展示室
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／11月3日(木・祝)



ブルーパール(霞石閃長岩)
ノルウェー産 EB19060002
原寸大



ローザポリーニョ(黒雲母花崗岩)
スペイン産 EB21160031
原寸大



木曽石(花崗閃緑斑岩)
岐阜県中津川市産 EB22090001
原寸大



中津川市役所の庁名石標
代表的な黒みかげ「ラステンバーグ」
(普通輝石斑れい岩)が使われている

■ 記念講演会「街の中で見つかるすごい石～都会は石材博物館」

- 講 師／西本昌司さん(愛知大学教授)
- 日 時／11月13日(日) 13:30～15:00
- 会 場／鉱物博物館 研修室
聴講無料
6ページもご参照ください。

(大林)

中山道歴史資料館

企画展 幕末明治の医学と中津川～馬島靖庵が見た医学の夜明け～

10月4日(火)から

馬島靖庵(水野靖庵:1811～1868)は、苗木藩典医の子として生まれ、幕末期に中津川で開業した医師です。医師を本業としながらも、漢詩・和歌・俳句に精通し、国学者の平田篤胤^{あつたね}没後の門人として、間秀矩^{ひでのり}・市岡殷政^{しげまさ}・島崎重寛^{しげひろ}らを指導しました。中津川の文化面における教導的存在でした。

医師としては、馬籠、木曽、飯田等へも往診に出かけるなど、その往診範囲は国をまたいだ広いものでした。安政元(1854)年に医院を養子に譲ったのは、信濃の伴野村(現在の長野県下伊那郡豊丘村)へ移住し、その地で世話になっている家、松尾多勢子の娘に種痘をしています。

広い見識で中津川の知識層をリードした靖庵をとおして、幕末から明治の医学と文化について紹介します。

- 会 期／10月4日(火)～令和5年4月2日(日)
- 会 場／中山道歴史資料館 第1展示室
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／10月2日(日)・11月3日(木・祝)
11月12日(土)・12月4日(日)



馬島靖庵の系図(当館蔵)

(伊藤)

苗木遠山史料館

企画展 大名の日記展

10月8日(土)から

江戸300藩のうち、大名直筆の日記が残っているのはわずか5藩です。そのうち最長の50年に渡る記述が残る苗木藩第11代藩主遠山友寿と第12代友禄の日記を公開し、その内容を解説します。

参勤交代、武術の稽古、狩り、苗木の盆踊り、江戸の花火、自身の結婚、黒船来航、安政の大地震、桜田門外の変、コレラの流行、そして様々なできごと。

友寿・友禄が見聞きし、体験した江戸時代と大名の日々を、実物の大名日記をとおして、ぜひ追体験してください。

- 会 期／10月8日(土)～11月13日(日)
- 会 場／苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／11月3日(木・祝)

(小林)

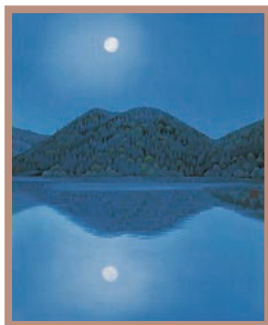
東山魁夷心の旅路館

第Ⅲ期展 月明—幻想の世界

12月18日(日)まで

月明かりに照らされた森や湖面に投影された月の見える風景は、鑑賞者を何処か幻想的な世界へと誘うかのようです。画家の想いの中で表現された魅惑的な作品をお楽しみください。

- 会 期／9月17日(土)～12月18日(日)
- 会 場／東山魁夷心の旅路館
- 休館日／毎週水曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／11月3日(木・祝)



月唱(木版画)



白馬の森(リトグラフ)



月光(リトグラフ)

(入曽)

熊谷榎つけちギャラリー

第Ⅱ期展 企画展 「まゆだまマユと小さくて大きな世界」展

11月27日(日)まで

中津川の豊かな自然を、まゆだまマユの小さな世界から感じることができる展覧会。「マユ」や「植物」の気持ちを考えて展示室に貼ったり、「自然探しビンゴ」など子どもから大人まで楽しめる参加型の展覧会です。

- 会 期／8月5日(金)～11月27日(日)
- 会 場／熊谷榎つけちギャラリー
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日
- 入館無料日／11月3日(木・祝)

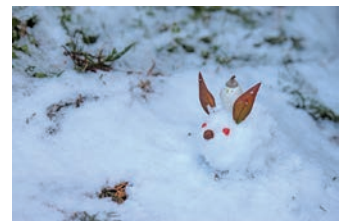
■関連の催し

申込先：中津川市役所文化振興課

電話 0573-66-1111 (内線4318) ※要予約

野草ツアー 10月23日(日) 10:00～11:00 費用500円(野草茶お土産付)／定員10名

自分だけのマユ&お家作り 10月23日(日) 13:30～14:30 費用500円／定員10名



第Ⅲ期展 安江静二展

12月2日(金)から

- 会 期／12月2日(金)～令和5年3月19日(日)(予定)
- 会 場／熊谷榎つけちギャラリー
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日(年末年始は休館)

(上田)

- 各教室・講座の申込方法など詳細は、各館のご案内をご参照ください。
- 各館の連絡先は8ページをご参照ください。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、催し・予定が変更・中止になる場合があります。
最新情報は各館にお問い合わせください。
中津川市の博物館WEBサイトでもお知らせします。
※右のQRコードを読み取ると、中津川市の博物館WEBサイトが表示できます。



中津川市の博物館WEBサイトQRコード

苗木遠山史料館



金曜講座 史料館調査報告

史料館文書でわかった内容を紹介します。

■講師：調査員 千早保之

開催日	第4回11/18(金) 奇数月第三金曜日(隔月)		
時 間	13:30~15:30	対 象	一般
定 員	20名	費 用	資料代 250円
申 込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		



古文書教室 史料館文書を読む

遠山家古文書を解読しながら、みんなで学びます。

■担当：調査員 加藤宣義、千早保之

開催日	第7回10/22(土) 第8回11/26(土) 第9回12/24(土) 毎月第四土曜日		
時 間	13:30~15:00	対 象	一般
定 員	20名	費 用	年間1,000円
申 込	開催日まで随時受付、先着順、途中の回からの参加可		
その他	持物：筆記具、くずし字用例辞典		



土曜講座 第5回『熊崎家続書』の記録から探る苗木領の近世とその後

遠山家文書以外にも個人が残した古い記録があります。
苗木領にあった熊崎家には、先祖の記した『熊崎家続書』
という古文書が伝わっています。
市町村史など正史に引用されることはなくても、かつては
確かに実在した人物達がいました。その記録から新たに分
かった事柄について紹介します。

■講師：学芸員 熊崎真司

開催日	10/15(土)		
時 間	13:30~15:30	対 象	一般
定 員	20名	費 用	資料代 250円
申 込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

中山道歴史資料館



文学講座 島崎藤村文学

馬籠出身の文豪・島崎藤村の生涯と作品を学びます。

■講師：館長 西村友孝

開催日	第7回10/19(水) 第8回11/16(水) 第9回12/21(水) 毎月第三水曜日		
時 間	13:30~15:00	対 象	一般
定 員	14名	費 用	1回 250円
申 込	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		



古文書講座 江戸幕末より明治の歴史を史料にみる

江戸時代より明治初期の歴史を、中津川の人々の活躍も
含めながら史料によってひもときます。

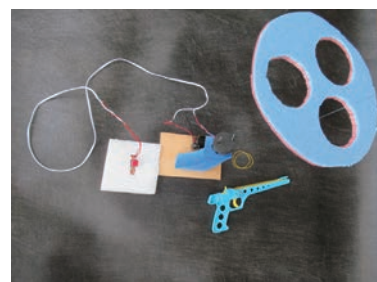
■講師：仁科吉介

開催日	A班 毎月第二水曜日 第7回10/12(水) 第8回11/9(水) 第9回12/14(水) B班 毎月第四水曜日 第7回10/26(水) 第8回11/23(水)		
時 間	13:30~14:30	対 象	一般
定 員	各班14名	費 用	1回 250円
時 間	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		

✂ 光でオルゴールのようなメロディーが鳴る装置をつくろう

光を使って音や音楽を伝えることができる装置をつくります。

開催日	時 間	対象	定員	費用	講 師	申込
10/22(土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	300円	大井文高さん	締切 10/14



ブーメランUFOの発射台と
輪ゴム銃をつくろう

✂ ブーメランUFOの発射台と輪ゴム銃をつくろう

薄い発泡スチロールで作ったUFOをモーターで回転・上昇させ、クレ射撃のように輪ゴム銃で撃ち落とします。

開催日	時 間	対象	定員	費用	講 師	申込
11/12(土)	9:30~11:30	小学生以上	10名	500円	山内健治さん	締切 11/4



ミニミニプラネタリウムをつくろう

✂ ミニミニプラネタリウムをつくろう

四季の星座がわかるミニミニプラネタリウムをつくり、ドームに映し出して冬の星座を楽しみます。

開催日	時 間	対象	定員	費用	講 師	申込
12/3(土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	980円	大橋 弘さん	締切 11/25

- 定員を超えた場合は抽選です。
- 抽選に当たった方には電話で連絡します。(不在の場合は、次の方が当選になることもあります。)
- 小学校3年生以下の参加には、大人の付き添いをお願いします。
- 費用は変更になる場合があります。

子ども科学館 ミニ科学 工作まつり

日時：11月3日(木・祝) 9:30~12:00

いろいろな科学工作や、ミニプラネタリウム上映、太陽望遠鏡による太陽観察、プログラミングロボット体験などをお楽しみいただけます。
お子さん全員に手作りのおみやげをプレゼント。

*入館無料(終日) *参加費無料
*催しは予定です。都合により変更する場合があります。
*11月2日(水)は準備のため、16時に閉館させていただきます。



秋の星を観る会Ⅱ ～月と木星～

縞模様のある木星と、満月に近い月を
天体望遠鏡で観察します。
ベガス座を中心に秋と夏の星座も観察します。

日時 10月8日(土) 19:00~20:30 *天候不良時は中止
場所 子ども科学館前集合 講師 中津川市教員・教員OB
定員 先着20名 受付 9月11日(日)9:30~
*参加費無料、どなたでも参加できます。(小学生以下は保護者同伴)

秋の星を観る会Ⅱ ～皆既月食と天王星食～

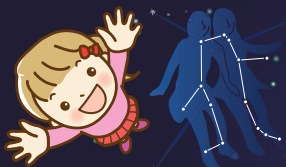
月がどんどん欠けて赤銅色になる様子と、
皆既月食中におこる天王星食を天体望遠鏡と肉眼で観察します。
木星と秋の星座も観察します。

日時 11月8日(火) 18:30~20:30 *天候不良時は中止
場所 子ども科学館前集合 講師 中津川市教員・教員OB
定員 先着20名 受付 10月9日(日)9:30~
*参加費無料、どなたでも参加できます。(小学生以下は保護者同伴)

星空観察会 —ふたご座流星群と冬の星座—

鉱物博物館・子ども科学館共同企画

■日時 12月14日(水) 18:30~20:30
■場所 鉱物博物館駐車場 *詳しくは鉱物博物館の教室案内(6ページ)をご覧ください。



 石割体験 共催：鉱物博物館友の会

恐竜が絶滅する前にできた石（みかげ石）をプロの道具で割ってみましょう。かたい石があなたの手でまっぴたつ！

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込	そ の 他
11/3 (木・祝)	13:30～14:30	小学生以上	30名	無料	中根石材	当日受付 整理券配布	

 企画展記念講演会「街の中で見つかるすごい石～都会は石材博物館」

普段歩いている街の中には、世界中から集められた石材とともに中津川の石材も使われています。それらは、街や地球の歴史を感じさせてくれる「すごい石」ばかり。石のことを知って、街歩きを楽しみましょう。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込	そ の 他
11/13(日)	13:30～15:00	一般	24名	無料	西本昌司さん (愛知大学)	当日受付 (予約優先)	

 森の木の実でリースづくり

植物のツルを使ったリース飾りをつくります。木の実や葉っぱを飾りつければ、自分だけのリースのできあがり。自分でつくったリースを飾って、素敵なクリスマスを迎えましょう。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込	そ の 他
11/27(日)	10:00～12:00	小4～大人	6名	500円	職 員	10/26～ 11/10 抽選	小3以下は保護者同伴で

 石のキャンドルづくり

石でつくった容器にロウを流し込めば、素敵なキャンドルのできあがり。火を灯すと石をすかして暖かな光が広がります。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込	そ の 他
12/11(日)	9:30～12:00	小5～大人	6名	1,000円	職 員	11/11～ 11/25 抽選	小4以下は保護者同伴で 持物：空の牛乳パック(1ℓ)

 星空観察会一ふたご座流星群と冬の星座 鉱物博物館・子ども科学館共同企画

冬の星座とこの日に極大をむかえるふたご座流星群を観察します。この時期、最高に冴えわたる冬の星座を観たり、望遠鏡で冬の星座・星団を観察します。子ども科学館、鉱物博物館どちらでもお申し込みいただけます。天候不良で中止の場合は、当日17時までに各館ウェブサイトでお知らせします。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込	そ の 他
12/14(水)	18:30～20:30	親 子	30名	無料	中津川市教員 教員OB	11/13～ 先着順	持物：懐中電灯、防寒具、マスク 天候不良の場合は中止

 ミニ門松づくり

自分でつくった門松を飾って、お正月を迎えましょう。ミニといっても高さ1mほどの立派な門松です。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申込	そ の 他
12/24(土)	① 9:30～12:00 ② 13:30～16:00	親 子	各6組	1,500円	友の会	11/26～ 12/9 抽選	持物：軍手、移植ゴテ



森の木の実でリースづくり



石のキャンドルづくり

中山道歴史資料館

馬島靖庵の『医師免許』

写真は馬島靖庵が天保7(1836)年、26歳の時に取得した医師免許です。

江戸時代の医者には、現在のような特別な資格は必要なく、自己申告が許されていた時代でした。医者の資質の有無に関係なく、自分が医者だと言えば、それが通る世の中でもありました。そのため、医者と名乗る者の中には、知識・技量・見識に欠ける者がいたようで、診たてや治療に問題があったという記述を、歴史資料の中で見かけることもあります。

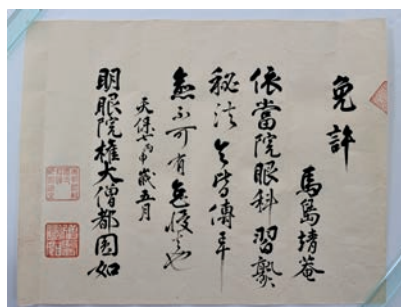
こうした江戸時代の医療事情の中で、『医師免許』は大変貴重なものでした。簡単に取得できるものではなく、正真正銘の医術を極めた者のみに与えられた称号でした。

靖庵の医者としての歩みは、どのようなものだったのでしょうか。

文化8(1810)年に医者の家系に生まれた靖庵は、幼少期(10歳前後)から医者になるための修行に出ており、天台宗明眼院(尾張国海東郡)の馬島氏に師事しました。その過程で漢書研究、外科学、史記研学などを修めながら、天保4(1833)年に医者の免許を取得し、馬島

姓を称することを許されました。天保7(1836)年、26歳の時に中津川へ帰郷し、現在の新町、間家近くに馬島医院を開業しました。

その後も医術習得のために上京し、内科・産科などの医術を修め、現在の総合診療医のような存在となりました。医者としての位も法橋・法眼と高位なものでした。当時の医者の身分は僧侶と同じ扱いがされており、その称号は僧侶によく似たものでした。当時、医者になるためには漢文で書かれた医術書を理解する必要があり、漢学を極めていた僧侶が医者となることも多かったようです。靖庵もまた漢学に通じ、医業の傍ら寺子屋を開いて子弟を薫陶しました。



眼科医師免許状(当館蔵)

(伊藤)

苗木遠山史料館

苗木城築城500年

苗木城が高森山に築城されたのは、室町時代の大永6(1526)年で、今から496年前のことでした。それまでは植苗木(福岡)に遠山氏の屋敷と城砦(広恵寺城は1350年以降に築城)と寺社(牛頭天王を祀る広恵寺)がありました。

古代から木曾川の北は古中山道が坂下・福岡・高山・蛭川・中野方を通っていて、飛騨を北に見る福岡は恵北の要路となっていました。しかし応仁の乱の後、東山道に信濃の小笠原氏・木曾氏が南下してくると、新たな監視・警備が必要となってきました。

中世の荘園は、まだ京都の近衛家が苗木郷と岩村郷を領しており、苗木郷の代官所は日比野が八幡にあったのではないのでしょうか。税の徴収は植苗木の地頭(奉行)である遠山氏が行い、代官所へ一定部分を上納する関係(公家と武士の関係)でした。

1521年に飛騨南の竹原にいた三木氏が高山に移り、北の監視にゆとりが出来たため、遠山一雲入道昌利は南の警備の充実を図りました。その頃、荘園支配は衰微し、近衛家の最後の代官小笠原某が代官所から撤退したので、入れ替わりに遠山家は居を移し、1526年高

森山に城砦を建てました。一雲入道は植苗木にそのまま隠居し、東山道を監視する高森城には嫡男の高柴伯耆守景德が移りました。日比野の熊野社(現 神明神社)はおそらく近衛家代官所の社だったのでしたが、奉行景德が大永4(1524)年に再建しています。遠山景德が高柴と呼ばれるのは、高柴(新谷)に遠山屋敷が置かれたからでしょう。苗木の遠山家は、ここから歴史に大きく足跡を残すようになります。

500年前から、苗木のイメージは一新されたのでした。



苗木城二の丸御殿と天守復元図
(CG作成 浅野孝司)

(千早)

文化の日入館無料デーのご案内

中津川市の博物館では、11月3日（木・文化の日）の入館を無料とします。

対象施設は、苗木遠山史料館・中山道歴史資料館・子ども科学館・鉱物博物館・東山魁夷心の旅路館・熊谷樞つけちギャラリーの6館です。各館で催しも予定しています。

■苗木遠山史料館 **秋のクイズラリー**

■中山道歴史資料館 **クイズラリー**

■鉱物博物館 **水晶さがし、石割体験** (6ページ参照)

■子ども科学館

ミニ科学工作まつり (午前中、5ページ参照)

ミニプラネタリウム上映

お子さん全員に手作りのおみやげプレゼント

■東山魁夷心の旅路館

先着30名様にポスタープレゼント

*催しは予定です。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、変更・中止になる場合があります。

*催しの中には有料のものや開催時間の限られているものがございますので、詳しくは各館にお問い合わせください。

中津川ロータリークラブ presents “65周年事業”

「家族で行こうよ！ 発見！

中津川わくわく博物館」を開催しました

中津川市の博物館5館（苗木遠山史料館・中山道歴史資料館・子ども科学館・鉱物博物館・東山魁夷心の旅路館）では、8月2日（火）から8月21日（日）までの期間、みなさんに無料でご入館いただきました。

中学生以下のお子さんには、中津川ロータリークラブから館それぞれのデザインの記念缶バッジがプレゼントされました。

期間中、何度も同じ館に足を運ぶご家族や、プレゼントされたバッジをつけて、他の館を訪れる子どもたちの姿もありました。



オープニングセレモニーの様子

寄贈を受けました

2022年6月～8月受贈分

鉱物博物館

三上 勇 様 岩石標本4点

加藤 國男 様 岩石標本4点

権田 恒雄 様 普及用鉱物一式 ありがとうございました。

休
館
日

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

□ 東山魁夷心の旅路館休館日 ■ その他4館の休館日 ※子ども科学館のみ11月2日（水）は16:00閉館

熊谷樞つけちギャラリーは金・土・日および国民の祝休日のみ開館

*年末年始休館日のお知らせ 12月25日（日）から1月5日（木）まで全館休館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク

中津川市鉱物博物館

〒508-0101 中津川市苗木639番地の15

JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分

FAX 0573-67-2191

☎ 0573-67-2110 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/>

わくわくドーム

中津川市子ども科学館

〒508-0011 中津川市駒場1657番地の1

JR中津川駅から徒歩約20分

FAX 0573-66-9171

☎ 0573-66-9090 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/s/>

苗木城跡歴史の広場

中津川市苗木遠山史料館

〒508-0101 中津川市苗木2897番地の2

JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分

FAX 0573-66-9290

☎ 0573-66-8181 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/>

中津川宿を中心とした歴史の旅

中津川市中山道歴史資料館

〒508-0041 中津川市本町2丁目2番21号

JR中津川駅から徒歩約10分

FAX 0573-66-7021

☎ 0573-66-6888

<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/>

木曾谷に抱かれた美術館

中津川市東山魁夷心の旅路館

〒508-0501 中津川市山口1番地15

中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅隣内」

FAX 0573-75-5225

☎ 0573-75-5222

<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/k/>

山と青川の小さな美術館

熊谷樞つけちギャラリー

〒508-0351 中津川市付知町4956番地の52

（アートピア付知交芸プラザ内）

中央自動車道「中津川IC」から車で約40分

☎ 0573-82-4911

<http://www.kaya-kumagai.jp>

中津川市博物館だより

Vol.23, No. 3

編集 中津川市鉱物博物館

恵那山

2022年10月発行

〒508-0101 岐阜県中津川市苗木639-15

TEL: 0573-67-2110 / FAX: 0573-67-2191